

(記入例・注意事項)

半期内で初めての申込の場合は「新規」
半期内で2回目以降の申込の場合は「継続」
に○を付けてください。

必ず必要です。押印してください。
提出時に再度確認ください

日付は記入しないでください。
(横浜港埠頭側で受付日を記入します)

いずれかに○をしてください

(様式1)【A4横・カラー】 2025年4月改訂

(発注者記入)

副申日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

昼夜区分 ☒ 昼・夜

副申書 ☒ 新規・継続

建設発生土担当課長印

副申番号 ○ ○ - ○ ○ - ○ ○ - ○ ○ - ○ ○

発注局コード 課・所コード 中継所コード 所管課管理用

横浜港埠頭株式会社 様

工事監督主管課長 (職名・氏名)

例① ○○局○○課長 ●●□□
例② ○○局○○事務所長 △△○○
例③ ○○区○○土木事務所副所長□□△△
例④ ○○県○○局○○課長□□△△

大黒ふ頭又は幸浦 (リストから選択)

区以降必ず1文字以上記入してください。
("一円"等でも可)

発注者側の監督員氏名を記入してください。(元請の現場代理人ではありません。)

JV(共同企業体)の場合は、JV名を記入してください。

搬入期間は同じ半期内の日付を記入してください。また、開始日が申込日よりさかのぼった日付でも(工期内であれば)問題ありませんので、必ず記入してください。

1件の工事で発生する土砂の総土量を記入します。

※訂正した場合は、訂正印(建設発生土担当課長印)を押してください。

○は受付の条件ですので必ず記入してください。

副申書(左側)を訂正した場合は、建設発生土担当課長の訂正印が必要です。

大黒(昼)、大黒(夜)、幸浦毎の当半期内に搬入する土砂の合計土量を記入します。

工事名称	○○○○建設工事		
施工場所	横浜市 ○○区 ○○ ○ - ○ - ○		
監督員氏名	△△□□	電話番号	999-9999
元請会社名	○○○○建設株式会社		
搬入期間	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ~ 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日		
工事発生総土量 (ほぐし)	10,000.0 m ³	当半期の副申土量 (ほぐし)	6,500.0 m ³
土 質	粘性土 砂質土 礫質土 ☒ その他 (○○土)	今回申込土量 (ほぐし)	6,500.0 m ³
土壌汚染対策法に規定する「要措置区域等」の指定 (今後指定を含む) あり ☒ なし (どちらかを選択し○をつけてください)			

建設発生土搬入申込書

左記の副申書工事について、次のとおり建設発生土の搬入を申し込みます。

半期内で2回目以降、「継続」で申し込む場合に前回の整理番号を記入してください。

JV(共同企業体)の場合は、JV名と代表会社、代表者名を記入してください。

代表者印(○印)を押印してください。
※社印(□印)は無効です。

登録したダンプであればトン数を問わずどのダンプでも、また何度でも使用できます。
枚数は、1日に稼働するダンプの実台数を目安にしてください。

青線枠内を記入してください。

※1 「継続」で申し込みの場合は、前回発券時にお渡した「確認書」に記載してある整理番号を記入し、確認書も持参してください。

※2 8t車の車両登録は、車検証の写しの提出が必要です。

※3 「継続」で申し込む場合は、「0」と記入してください。

◎ 登録するダンプトラックは、使用することが確実な車両に限定してください。

◎ アームロール車や車検証に「土砂等禁止」と記載のある車両は登録できません。

建設発生土搬入申込書(右側)を訂正した場合は、訂正印は不要です。

整理番号	○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○		
郵便番号	○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○		
住所	横浜市 ○○区 ○○ ○ - ○ - ○		
フリガナ会社名	マルマルケンセツカブシキカイシャ		
代表者 (職名・氏名)	代表取締役社長 □□ ▲▲		
電話番号	999-9999		
FAX番号	999-9999		
現場代理人氏名	◇◇ □□		
電話番号	999-9999		
建設発生土搬入整理券枚数	2t券 (1.3m ³)	0 枚	横浜港埠頭使用欄
	3t券 (2.0m ³)	0 枚	
	4t券 (2.7m ³)	0 枚	
	8t券 (5.4m ³)	0 枚	
	10t券 (6.5m ³)	1000 枚	
登録するダンプ台数	100 台	1日搬入予定土量	500.0 m ³
必要搬入車証枚数	25 枚		